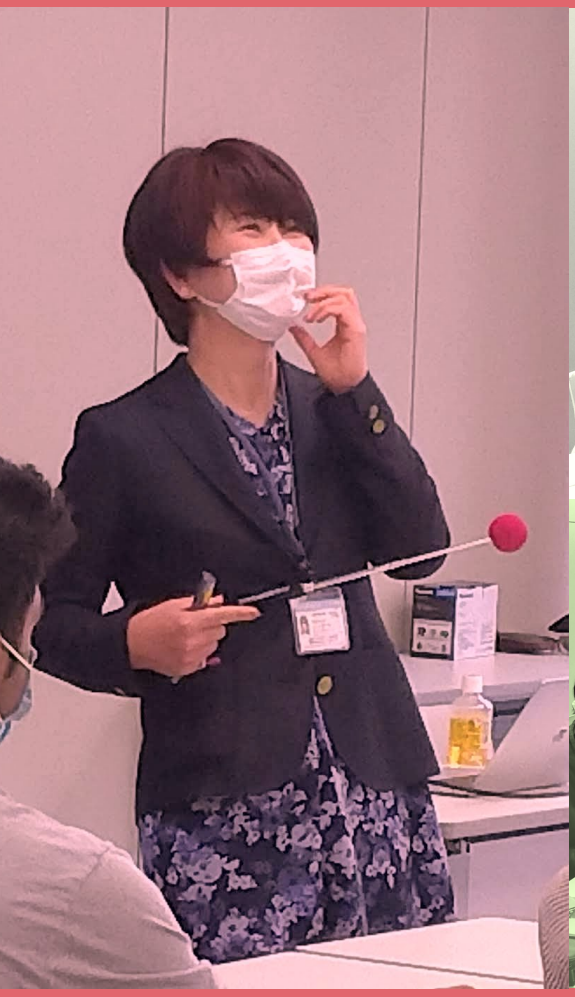
日本語教師養成講座

CJLS
セントラルジャパン日本語学校
Central Japan Japanese Language School

2021年8月より授業料を改定しました



セントラルジャパン日本語学校

日本語教師養成講座450時間総合コース

文化庁届出受理番号：R01080623005

厚生労働省 一般教育訓練給付金対象講座

〒460-0003
名古屋市中区錦一丁目6番36号
N.A.Pビル 4F
TEL052-265-5421

Facebook

Homepage

1 講座の特徴

講座紹介ムービー

講座の様子や修了生の声、
講師からのメッセージなどがご覧頂けます。

①講座の内容や質について、文化庁への届出が受理された講座です。

（文化庁届出受理番号：R01080623005）

・「日本語教育機関の法務省告示基準第1条第1項第13号に定める日本語教員の要件について」
（www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/kyoin_kenshu/）

・「文化庁国語課への届出を受理された日本語教員養成研修実施機関・団体」
（www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/kyoin_kenshu/pdf/kyoin_kenshu_list.pdf）

②理論と教育実習の組み合わせを重視、講座修了後は即現場で活躍できる講座です。

・言葉がどのように習得されるのかを学習し、効果的な日本語教育の方法を学びます。

・理論部分と実践部分を同時に段階的に学習していきます。

・理論を理論で終わらせずに、常に実践の中でどのような応用可能性があるかを理解しながら学習を進めていきます。

・教育実習関係の単位時間が450時間中230時間あります。実際の現場に出る前から、豊富な授業経験を積むことができます。

③Macを使ってプレゼンテーションソフトの利用方法や、音声教材、動画教材の作成など、さまざまなICTの利用方法を学んでいきます。

・日本語教師の養成段階から求められる、ICTを使った教育方法を基本から学んでいきます。

・受講される方はMacBook、MacBookairなどをご持参ください。購入の相談も受け付けております。

・Macのプレゼンテーションソフトを使った効果的な授業の方法、音声教材や映像教材の作成など盛りだくさんの内容です。
Macに触ったことがない方でも、初歩の初歩から指導していくので安心です。

④平日2日＋土曜日、一年間で無理なく通えます。アクセスも良好です。

・平日に2日間、主に理論的な部分について学習します。土曜は教育実習を中心に行います。（時間・日程は別紙）

・450時間を1年かけてじっくり受講します。理論科目の復習や教育実習の準備にも、時間をかけて余裕をもって進められるので、
じっくりと本気で日本語教師を目指す人に最適なコースです。

・講座の開講時期は、4月と10月です。年に二回、入学のチャンスがあります。

・名古屋駅から徒歩15分、地下鉄伏見駅／丸の内駅なら5分程度のアクセス良好なロケーションでお仕事帰りにも通いやすい講座です。

⑤全科目が通学制。きちんと講師と対面し、受講生の仲間と励まし合いながら学べます。

・セントラルジャパン日本語学校では全ての科目が、通信ではなく通学の講座です。

・聞きたいことがあればすぐに講師に質問できる環境です。通信講座等ではなかなか体感しにくい講師の熱意や臨場感を感じながら
受講することができます。

・講座全体を通して、受講生同士の協働作業を通じて学びを深めていきます。ともに苦労して学んだ仲間は、講座を修了してからも
かけがえのない存在になります。

2 こんな方にオススメです。

- **プロの日本語教師としてバリバリ働きたい！**
- **仕事で多文化共生**に関わっているが、日本語教育について勉強する必要を感じている。
- 地域の**日本語ボランティア**（日本語学習支援）をしているが、もっと効果的に支援をしたい！
- 一度は**海外で働いてみたい！**　そのためのスキルがほしい！
- 学校の教員だが、**外国ルーツの子どもたちが増えている**ので、日本語教育の知識をつけたい！
- **国際交流や外国の文化が大好き**で、外国人の友達が多い！
- 昔、養成講座を受けたが、もう一度新しい理論などを**学び直したい**！
- いずれ**海外に移住**したい。そこで日本語教師をやってみたい！
- **大学在学中から受講**し、卒業と同時に日本語教師になりたい！
- **現在も日本語教師**として働いているが、**ICTを始めとした新しい教育方法を学びたい**！

3 時間、受講料等に関して

時間

- 平日2日（毎週）　3単位時間（曜日、時間は開講時期で変動。別紙予定表をご確認ください）
  土曜　（隔週）　10単位時間（9:00〜18:00）
- 平日は第二言語習得論、多文化共生、日本語の音声、など幅広い知識を学ぶ。
- 土曜は教育実習など実践に関わる科目を行う。
- 詳しくは別紙の日程を参照。

受講料等

- 入学金　33,000円（税込み）　授業料　495,000円（税込み 2021年8月改定）
- 教材費　20,000円程度（指定の書籍をお持ちでない場合のみ）
- Mac　ICT関連の科目でMacを使用するので、各自お持ちください。購入のご相談にものります。
- 一般教育訓練給付金対象講座です。受給条件を満たす方は修了後に給付金が支給されます。
  詳しくは厚生労働省のホームページをご確認ください。

支払い方法

- 銀行振込のみ
  銀行名　：三菱UFJ銀行　今池支店
  口座番号　：普通　3552686
  口座名義人：株式会社アクセルホールディング

厚生労働省ホームページ

4 割引制度（割引の併用はできません）

- **早期申込割引**　：講座開始日の三ヶ月前までに申し込みされた方は、授業料を10%割引（495,000円→445,500円）
- **学生割引**　：講座開始時に学生の方は入学金を免除。
- **多文化共生割引**　：以下に該当する方は入学金を免除。

①市役所等の地方公共団体で多文化共生に関わる職員として勤務されている方

②多文化共生等に関わるNPO等の組織に有給の職員として半年以上勤務されている方

③愛知県及び近郊の自治体の学校等で、外国にルーツを持つ子どもたちに関わる教師等として勤務されている方

5 受講までの流れ

①メール、電話でお問い合わせ。

TEL 052-265-5421　Mail：r_kashiwaya@cj-manabi.nagoya　担当：柏谷（かしわや）

②来校。講座内容についての説明、相談。条件等の確認。

③申込書送付、または持参（申込書はこのパンフレットに挟んであります）

④料金振り込み

⑤受講申し込み確定

⑥講座受講開始（4月、または10月）

6 主な担当講師

- 各科目について、深い専門性を有した講師が担当します。（50音順。所属等は2021年3月現在）

青山豊
青山組代表
日本語教師
ライター

江崎由美子
CHEERS代表
日本語教師
『日本語教師力１UPセミナー』主催

大塚容子
岐阜聖徳学園大学教授

柏谷涼介
セントラルジャパン日本語学校
主任教員

土井佳彦
多文化共生リソースセンター東海
代表理事

名古屋難民支援室
スタッフ

望月雄介
岐阜聖徳学園大学非常勤講師

米勢治子
東海日本語ネットワーク

7 科目と受講単位時間

科目名	単位時間
開校オリエンテーション	1
日本語教育の文法	21
第二言語習得理論と文法	24
言語理解の過程と 読解・聴解教育	12
言語理解の過程と 語彙教育	9
ICTと教育	21
日本語の音声	12
言語コーパスの利用と 教材作成への応用	6
コミュニケーションと 話す能力の育成	9
コミュニケーションと 書く能力の育成	6
外国語教授法概論	9
異文化理解の過程と心理	6
協働学習の理念と技法	6
文字の教育	6
中・上級の授業	9
コースデザイン	6

科目名	単位時間
教育実習	220
授業見学	10
世界の日本語教育事情	3
日本語教師の自己成長	3
言語学概論	6
学習ストラテジー	6
談話研究と 日本語教育への応用	3
対照言語学（日中）	3
日本語教育史	3
日本語史	3
評価法	6
多文化共生施策	3
多文化共生と 地域日本語教育	6
日本の難民問題と 日本語教育の必要性	3
日本語教師としての キャリアデザイン	6
日本語教師という仕事	3

合計450単位時間（1単位時間45分）

8 その他の情報

定員について

- 一期につき20名ずつの定員となります。
- 最少開講人数は5人です。5人に満たない場合はその期は開講しない場合もあります。

休校・補講について

- 運営側の事情、あるいは災害等によりクラスが休校となった場合、随時補講を行います。
- 個人の都合により欠席された場合は次期での振り替え受講が可能です。（追加料金なし）
  次期ではなく該当の期での補講を希望される場合、2回目以降の補講には追加料金として、
  一回につき5,000円の追加料金を頂きます。
- 在籍は3年間まで可能です。単位認定に満たなかった科目は、次期で受講することができます。

講座修了の認定について

- 各科目の成績は以下の2つの条件を満たした場合のみ合格となります。
  ◉該当科目の試験、レポート等の評価が「優・良・可・不可」の「可」以上であること。
  ◉該当科目のそれぞれの出席率が90％以上であること
- 450単位中、必修科目の440単位時間以上に合格しないと、講座の修了認定はされません。
  また、試験等の点数が足りない場合、再試験を行います。

- 必修科目は下記29科目です。

①日本語教育の文法　②第二言語習得と文法　③言語理解の過程と読解、聴解教育　④言語理解の過程と語彙教育　⑤ICTと教育　⑥日本語の音声　⑦言語コーパスの利用と教材作成への応用⑧コミュニケーションと話す能力の育成　⑨コミュニケーションと書く能力の育成　⑩外国語教授法概論　⑪異文化理解の過程と心理　⑫協働学習の理念と技法　⑬文字の教育　⑭中・上級の授業　⑮コースデザイン　⑯教育実習　⑰授業見学　⑱世界の日本語教育事情　⑲日本語教師の自己成長⑳言語学概論　㉑学習ストラテジー　㉒談話研究と日本語教育への応用　㉓対照言語学（日中）　㉔日本語教育史　㉕評価法　㉖多文化共生施策　㉗多文化共生と地域日本語教育　㉘日本の難民問題と日本語教育の必要性　㉙日本語教師という仕事

日本語教師として法務省告示日本語教育機関に就職を希望されている方へのご注意

法務省告示日本語教育機関（いわゆる日本語学校）に勤務する場合は、当校の講座のような「文化庁届出の日本語教師養成講座420時間」の修了に加え、「①学士資格があること」または「②日本語教育能力検定試験の合格」が要求されます。
4年制大学ではなく、短大や専門学校が最終学歴の方は、本講座の修了だけでは、法務省告示日本語教育機関での勤務条件を満たしませんのでご注意ください。また、文化庁に届出が受理されていない講座は①を満たしても条件とはなりませんので、他の機関の講座をお考えの場合もご注意ください。②がある場合、420時間講座の修了や学歴については求められません。（2019年7月現在の情報）

ご不明な点等がある場合は、お気軽にお問い合わせください。

文化庁届出受理の講座リストはこちら　www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/kyoin_kenshu/pdf/kyoin_kenshu_list.pdf

9 連絡先・アクセス等

- セントラルジャパン日本語学校
- 〒460-0003　名古屋市中区錦一丁目6番36号 N.A.Pビル 4F
- ホームページ　https://cj-manabi.nagoya/
- Facebookページ　https://www.facebook.com/cjmanabi/
- TEL 052-265-5421
- Mail　r_kashiwaya@cj-manabi.nagoya

  担当：柏谷（かしわや）

Facebookページ

- 見学やご相談は随時受け付けております。お気軽にご連絡ください。

Google Map

- 地下鉄伏見駅　10番出口より徒歩5分程度
- 地下鉄丸の内駅　6番出口より徒歩5分程度
- JR等の名古屋駅より徒歩15分程度
- 駐車場および駐輪場はありません。

講座紹介ムービー

CJLS

セントラルジャパン日本語学校
Central Japan Japanese Language School

セントラルジャパン日本語学校

日本語教師養成講座450時間総合コース

文化庁届出受理番号：R01080623005
一般教育訓練給付金対象講座

〒460-0003
名古屋市中区錦一丁目6番36号
N.A.Pビル 4F
TEL052-265-5421

Facebook

Homepage